

祭囃子特集号

第97号
平成29年2月25日発行 八幡コミュニティ
責任者 寺島康夫 TEL 33-3230
印刷 八幡コミュニティ
編集 総合管理部

やわたコミュニティ

中日新聞

2007年(平成19年)7月11日(水曜日)

伝統の祭り囃子守れ

祭囃子(ばやし)の生演奏を復活させようと知多市八幡コミュニティは七日、「祭り囃子練習スクール」を開校した。小、中学生と主婦の計十四人が地区のお年寄りから横笛の吹き方を学んだ。

市が本年度に初めて実施したコミュニティを活性化させる事業に応募し、選定会議で選ばれた。市の委託料として約五十万円を受け取り、講師料やチラシ印刷代、会場使用料などに活用する。

祭囃子の旋律は地区ごとに少しずつ異なり、楽譜もなく、人から人へ伝えられてきた。このままではCDやテープが破損、紛失したときに伝統の音が途絶えてしまう。そう懸念し、後継者育成に取り組むことにした。三世代の交流を図る狙いもある。

祭囃子は、八幡神社の祭礼で行列が練り歩く際に必要となる。だが、八幡コミュニティ内の十三地区のうち、生演奏しているのは浜小根地区のみ。高齢化などで若手演奏者がいない九地区は演奏を録音したテープやCDを使い、新興住宅の三地区は祭り囃子そのものがない。

知多・八幡コミュニティ

(西尾述志)

後継育成へスクール開校



横笛の練習を繰り返す子どもたち＝知多市青少年会館で

スクールは市青少年会館で開かれ、生演奏を続ける浜小根地区のお年寄り五人が講師を務めた。参加者は指の使いの奏者も育てる考えだ。

本年度のスクールは十月まで計十二回、開かれる。太鼓を見据えていた。

方や出す音を見よう見まねで学び、横笛を手に何度も練習を繰り返していた。

八幡コミュニティの早川幸生会長(68)は「思ったより参加者が少なかったが、熱心で、いい音も出ていた。根気よくやっていきたい」と先を見据えていた。

悲願の生演奏に取り組んで
今年で十年目

(左)10年前の
新聞記事

八幡コミュニティが「祭ばやし練習スクール」を開校したとき、中日新聞で大きく報道されました。その時の練習生はわずか十四名でした。

その年の十月に行われた八幡神社の祭礼において拝殿前で祭囃子の生演奏を奉納し、翌年の元旦に尾張万歳の舞台で新春の成果発表を披露して以来、現在に至っています。「祭ばやし練習スクール」は平成二五年三月に発展的に解消され、同年四月から各地域単位の愛好会・同好会に生まれ変わりました。

八幡神社の祭礼はもとより各地域にある神社での祭事・敬老会の余興での演奏など活動範囲を広げてきたことで住民への認知も増してはきましたが、依然として愛好会・同好会の会員不足には頭をいためています。

ふるさとの伝統文化を次の世代に継承しなければならぬ、そんな思いから八幡全地域での生演奏普及を目指しています。一人でも多くの人に入会していただきたく、住民のみなさんのご支援をよろしく願います。

八幡地区祭囃子保存伝承活動



杉山祭囃子保存会



左から2人目が小川閏美さん

杉山祭囃子保存会



中小根祭囃子保存会

私は三年前に、先に参加していたお姉さんの話を聞いて妹と参加しました。今、子供の練習生は八人で全員女の子です。始めと終りに約十五分間ずつ練習し、休憩中はお菓子を食べながらおしゃべりをしています。八幡神社のお祭りや杉山敬老会、公民館の芸能発表会など、年に五回、練習成果を発表しています。新入生が入れば積極的に面倒をみていきたいと思っています。これからも先輩や友達と楽しく練習を続けていきたいと思っています。

杉山祭囃子保存会
小学六年 小川閏美

僕は小学校三年生からお囃子の笛を始めました。最初は全く音を出すことができませんでした。保存会の方に優しく教えてもらい吹けるようになり、毎回来る練習に参加しています。今はきれいな音をだせるよう意識して練習しています。中小根の祭囃子はお正月や敬老会で演奏します。元旦の八幡神社での公演ではたくさんの人達に聞いてもらえて嬉しかったです。これから祭囃子の伝統や文化を受け継いで伝えていけるよう練習を頑張りたいです。

中小根祭囃子保存会
小学六年 富田泰地



富田泰地くん



八幡・浜小根祭囃子愛好会



八幡・浜小根祭囃子愛好会



荒古祭囃子保存会



荒古祭囃子保存会

愛好会・同好会に入会を希望される方は、自分の地域の組長・町内会長まで申し出願いたします。

現在、祭ばやし参加者募集中！

来年は六楽曲の内、ひとつはマスターするよう努力します。残念なニュースは、平成十九年に開校された祭ばやし練習スクール発足以来のお囃子講師をされていた、小嶋甚三さん、内山正人さんが昨年相次いでお亡くなりになられました。ご冥福をお祈りいたします。

毎年行われる地元の神明社、秋葉神社を含め、八幡神社の祭礼の際に奉納演奏される祭囃子の愛好会に練習生として参加。四月の太々神楽祭に始まり、祇園祭（ぼうでん）、八幡神社祭礼、国民文化祭あいち二〇一六、そして今年度最後となる元旦祭を無事に終えることができました。愛好会の皆さんご協力ありがとうございました。

浜小根
組長 早川由市

荒古祭囃子保存会の皆さんと一緒に「明るく、楽しく、気合を入れて」頑張ります。

ある時、笛を吹きながら笛を回転させると、ある位置できれいな音が出ることに気づきました。以後はその位置を意識して練習し、音が出るようになりました。次にお囃子のメロディを頭に入れ、笛の穴の塞ぐ位置を覚えることでした。時間はかかりましたが、だんだん面白くなって自分の方から練習したい気持ちになりました。今も上手ではありませんが、何とかついて行けるようになりました。次は失敗無く、きれいな音とメロディを奏でることと思います。

私は荒古祭囃子保存会に六一歳で入会し、早六年年になります。過去に一度も吹いたことのない横笛に挑戦しました。最初はまったく音が出ず、息を吐くばかりで頭の中は酸素欠乏状態でした。入会から二年間は、笛の音が出ません。いろいろな演奏会に出席しても笛を吹いている格好だけでした。さすがに三年目に入ると「平然」という訳にも行かず、真剣に音が出るようになりたい気持ちが湧いてきました。

荒古祭囃子保存会々員

「八幡地区祭囃子愛好会・保存会」現況(平成29年1月31日現在)

	八幡	八幡・浜小根	荒古	中小根	杉山
講師人数	22	6	5	6	5
生徒人数	75	11	27	17	20
練習日・時間		毎月1回 第3日曜日 午前10時から 1時間	毎月2回 第1・3日曜日 午前10時から 1時間	毎月2回 第1・3日曜日 午後5時から 1時間	毎月2回 第2・4日曜日 午後5時から 1時間
練習曲名		下河 打込み 雷ばやし 辻わかれ 十日ゑびす 梵天	下河 打込み 雷ばやし 辻わかれ 十日ゑびす	祭囃子 一切から六切 大々神楽 一切から六切	杉山の祭囃子
参加行事					
八幡神社祭礼	○	○	○	○	○
産業まつり		○			
元旦祭	○	○	○		
神功皇后社祭礼					○
みんな発表会		○			
神原鳳章斎展	○	○	○	○	○
敬老会		○	○	○	○
祇園祭	○			○	



中国の仙人「東方朔(とうほうさく)」



H19/10 八幡神社祭礼



祭ばやし練習スクール
思い出の
アルバム

中小根の屋形

修復完了！

歴史民俗博物館で展示予定

期間：3/10～4/30

精緻な彫刻を

間近でご覧ください

H19/9 市民運動会



H20/元旦 八幡神社



H19/8 授業風景



H20/8 盆おどり大会



新春ボーリング大会(一月十四日)

名古屋グランドボールにて、新春ボーリング大会を盛大に開催しました。一般19名(高齢者1名)、小学生以下12名の合計31名が参加してくれました。

